

# 子育てフェスタ



## CONTENTS (目次)

楽山苑ライトアップ.....	2・3
チャレンジ!与板の米作り.....	4・5
フォトボックス.....	7~9
お知らせ.....	10・11
くらしのカレンダー.....	14

# 広報 よいた

2004. 6月号 No.456

### ●泊如会●

望湖亭外半青山跨水修  
 深影亦寒待伴痕邊今草  
 緑鶴驚碎玉吹蘭干  
丸山清江

明月高樓新市酒梅  
 香人日草半待  
船津美江子

丸山 清江 (稲荷町) 船津美江子 (水道町)

### ●与板盆栽会●



いわひば 「巻柏」

2点とも30年以上の品ですが、特に手は掛かりません

山崎 富一 (本与板)

MY HOBBY

## 広報クイズ

さあ!あなたもチャレンジ

次の問題の答えをはがきに書いてお送りください。抽選で5名の方に図書券を差し上げます。

- 〈問題1〉堂前中島町内会で自治総合センターのコミュニティ助成事業により購入したものは子供〇〇?
- 〈問題2〉5月9日にさとやま会の方々によって田植えが行われた酒米は〇〇〇?
- 〈問題3〉5月10日に中学1年生が田植えを経験しましたが、その田んぼの広さは何a?

応募方法: はがきに答えと住所(町内名で可)、氏名、年齢をご記入の上、次の宛先へお送りください。なお、広報へのご意見、ご要望なども書き添えていただければ幸いです。

応募先: 〒940-2492 (役場専用) 与板町役場 総務課「広報クイズ」係  
締め切り: 6月25日(当日消印有効)

## わが家のアイドル

たけうちよひと  
 竹内呼仁くん  
 《広野》  
 父 一仁さん  
 母 香織さん



はじめまして、ボクよひと〜。  
 6月で1歳になりました。  
 只今あんよの練習中!  
 はやく歩けるようになって、お外でいっぱい遊ぶんだあ。  
 お友達も沢山作っちゃうぞ!  
 ちよびりポチャリ気味なボクを見かけたら、声をかけてね。  
 お得意のバイバイを  
 ご披露するから♥(多分...)

## 編集後記

今回のライトアップのテーマである一期一会という言葉、私が初めて耳にしたのが中学生時代で、「出会いを大切に」と理解し、今日に至ります。

ライトアップの会場では、小学生時代の恩師と再会し、偶然私がボランティア当番の時に訪れて下さったことに驚きました。

会うのは13年ぶりだったのですが、昔と変わっていない様子で、切れずにずつつながっている縁の存在を嬉しく感じました。

(広報担当 近藤)

# いよいよ伸び盛りの「十歳」になりました

今年のライトアップは、庭のつつじの開花タイミングといい、井伊神社の祭礼との相乗効果といい、三輪見久氏の講演会と父子三代展の超目玉企画といい、三拍子そろった「十周年記念イベント」だったといえます。ただ、天候だけは思いのままには行かず、十日間の期間中半分は雨模様という結果だったのは計算違いでした。それでも、来客数は最終的には「四千八百人」を数え、この与板楽山苑が全県下に知られるスポットとなっていることが窺われました。



「こんなにいい所があるなんて、近くについて今まで知らなかった。」  
「嫁いで来てからずっと、楽山亭のことをくわしく知る機会がなかった。」  
そんな感想を洩らす若い世代の姿を、横目で眺めながら、「あなたも一緒に参加してみない？ もっとここが好きになるよ。」と言いたい気持ちでいっぱいでした。

たくさんの方が訪れて、たくさんの人との触れ合いが生まれ、迎えるほうもたくさんの方の心の「おみやげ」を貰います。

期間中、遠く岩船から一人で電車を乗り継いで、楽山亭を訪ねて来られたご婦人がありました。七十歳を越えていらつしやるように見えました。とても品の良さそうなしつかりとした女性で、朝刊で楽山亭の記事を見てすぐに電車で飛び乗ったそうです。

「いいものを見せていただきました。」と微笑んで、照明が点灯するのを待たず、「帰る電車がなくなりますから。」と帰って行かれた後ろ姿が印象的でした。

今年のテーマは、「二期一会」。迎えるボランティアの胸にも刻まれる言葉



でした。  
ライトアップ期間前の清掃奉仕活動に、今回は与板中学校から中学生が十六名も参加してくれました。さらに中学校の校長先生以下四名の先生方と、校長先生のお嬢さんまでが、拭き掃除や草取りに汗をかくてくださり、一同大感激でした。ライトアップ事業も、人間で言えば自立の「十歳」を迎えました。

## 「二期一会」 …その出会いさえも満を持して

前日までの雨も上がって、おだやかな陽射しが覗く五月十四日。  
静まり返った与板中学校の体育館に、夫人と共に笑顔で入場された三輪見久画伯。面長な顔立ち、薄く顎ひげをたくわえ、背筋を伸ばした氏のたずまいが、楽山亭に掲げられていた三輪潤太郎さんの面影とどこか重なって、初めてお会いしたような気がしないのが不思議だった。

気品と落ち着きのある静かな語り口に、思わず引き込まれ耳をそばたてて聴き入る。いつのまにか、大きな絵を前に感動で立ち尽くす時のような、ゆったりとした幸福感が心を充たしている。まさにこれが「二期一会」。

絵を描くには、暑い時には暑い所へ行くのです。寒い時には寒い所へ行かなければ、本当の絵は描けない。寒さで指がかじかみ絵の具が凍るのを経験して、厳しい冬の情景にその思いが塗り込められ、絵というものが出来上がるのです。

そうかあ、ぎりぎり限界に身を置くことで初めて得られる表現があるのだな、そういうものが人の心を打つのだな。これまで自分にそんな場面がいくつあったらどうか。  
てらいのない、味わい深い画伯の一言一言に、いちいち頷きながら、ここでこうして感受性豊かな中学生たちと、同じ時間と空間を共有するという

「人生の不思議さ」を思う。この贅沢なひととき、ふっと、誰にももなく感謝したくなったりして。

## 原点は「安中」との 交流にあり

そもそも、この楽山苑のライトアップは、どんなきっかけで始まったのだろうか。十周年というけれど、スタート当初の経過を知る人たちは少数だ。この節目を機に、ふり返ってみよう。  
話は十五年ほどさかのぼる。ある日、群馬県安中市から「与板に生まれた明治のキリスト者柏木義円」を偲ぶ市民の一行が、バスで当町を訪れた。



「柏木義円」は与板の西光寺に生まれ、寺を継ぐべき身でありながらキリスト教の信仰生活に入った、知る人ぞ知る「異色の思想家」である。若き

日の義円がもし安中に行かなかったなら、新島謙やキリスト教との出会いはなかったと思われる。そして、安中教会の牧師としてその生涯を終えることになった柏木義円がいなかったら、与



板との交流もなかったらどうし、このライトアップも誕生していなかったかもしれない…?という縁起話になるのである。

安中市民の一行の中に、吉田洋という四十代後半の市職員がいた。彼もまたクリスチャンであり、「古建築士」として古い建物や杉並木などの保存に情熱を注ぐ多彩な活動家であった。西光寺を始めとして与板町の歴史を感じさせる名所を巡っているうちに、彼はこの楽山亭に目を奪われた。

「このような建築物がここに残って

いるとは、素晴らしいことだ。」  
しかし、残念なことになり傷みも来ていて、修復を急がないといけない。それも、建造された時代に合った修復をしないと、建物の価値を台無しにしてしまう。吉田さんの提言と警告が、この楽山亭に光を当てるきっかけとなった。吉田さんは「外から見ると板」と題して、この時貴重な講話を行っている。

「楽山亭を町の宝物として、大切に守ってほしい。」ライトアップでもして、お茶をたててもらったら、雰囲気のある名所になるだろう。」

当時の有志「日々の会」メンバーが、吉田さんのヒントをもとに小さな手作りイベントを始めた。最初は「何をやっているんだか」と批判の目にさらされることもあったが、着実に裾野は広がっている。現在は「ライトアップ事業運営委員会」を中心としたボランティアによる、町民主体の観光イベントになりつつある。

「生みの親」吉田洋さんは、与板の町に感銘を受けた一行の帰りのバスの中で、市議選候補に推薦されることになり、初出馬で当選。その後市長選にも出馬。しかし、吉田さんの夢は、五十四歳という若さでの突然死により、無残にも断たれることになった。今、町づくりへの夢は、仲間たちに引き継がれている。与板と安中の、時代を超えた「因縁の深さ」を感じさせるエピソードだ。

(楽山亭ライトアップ事業運営委員会)

# チャレンジ！与板の米作り

小中学校の子どもたちが、総合学習の一環として、田植えや野菜作りといった、農作業を体験しています。作物を育てる楽しさや収穫の喜び、食糧の大切さを理解し、農業への関心を持つてくれることでしよう。

## 小学校

### 「おいしい米になあれ！」

去る5月7日、昨年に引き続き、与板小学校5年生（76名）の総合学習の一環として、学校教育田による取り組みが行われました。



第1日目は、代かきです。町農業委員さんと同乗しながら、トラクターの運転、乗り心地を体験しました。運転し終わった子どもたちは「楽しいなあ！もっと乗りたいなあ！」と、笑顔で答えてくれました。

トラクター運転の体験が終わると、子どもたちは、田んぼの中を駆け回ったり、蛙探しをしたりと、田との触れ合いを楽しんでいました。中には、勢い余って転倒し、尻もち

## 中学校

### 「おいしい米になあれ！」

5月10日、地元農家の方、農業改良普及センター等の協力を得て、今年度は、与板中学校1年生（74名）が、学校教育田による田植えを体験しま



約11aの田んぼのうち、5aは手で、残りは、田植機に実際に乗せてもらいながら、田植えをしました。

畦に1列に並んで向き合った生徒達は、先生の「ヨイ、始め！」の掛け声と同時に、田んぼの真ん中を指して、田植えを始めました。ス

をつく子がいたり、自ら田んぼに向かって、ダイブする子もいたり大騒ぎになり、最後には、先生を巻き込んだの、ドロンコ合戦で、第1日目の幕を閉じました。

今回は、田植えを体験し、秋には、もちつき収穫祭をする予定です。ドロンコだらけになった、元気いっぱいの子どもたち！今年もおいしいお米を作ろうね！

### 「おいしい米になあれ！」

5月13日、少し肌寒い中、前回、ドロンコだらけになりながら、代かきを体験した子どもたちは、ごろ押しと、田植えを体験しました。

約5aの田んぼ、計2枚に、それぞれ、コシヒカリ、こがねもちの苗を植えました。



えました。まっすぐ植えていくことに、四苦八苦している子、泥に足を取られて、なかなか前に進めない子など、田んぼのあちこちから「ぎゃー、うわあー」と元気のいい声が飛び交っていました。

田植え終了後、子どもたちが、お米について勉強して、疑問に思ったことを、町農業委員さんに、質問するコーナーがあり、「コシヒカリという名前は、誰が付けたのですか？」など、ユニークな質問がたくさん出ていました。

町農業委員さんの指導を受けながら、ごろ押しを押し子どもは、「思っていたより、ネットトしていて、難しかった」と、規則正しく、格子目を描いていくことは、意外と難しいことだと、感じたようでした。

田植えは、子どもたちが、畦に1列に並んで、一人3条ずつを植



### 野菜作りにも挑戦！

イスイスイとテンポ良く植えていく子、「ヒルがいる〜！」と叫んでいる子など、始めは、裸足で田んぼに入ることに、抵抗を感じている子も、一度、田んぼに入ってしまうと、いつの間にか、みんな笑顔で、楽しんでるように見受けられました。

秋に企画している、うまみち森林公園でのキャンプに向けて、今回は、野菜を作る予定です。

5月13日、今回は、野菜作りに挑戦です。前回と同じく、裸足で畑に入り、ねぎ、かぼちゃ、じゃがいも、さといもの苗を植えました。畑に一番乗りした男の子たちは、裸足にな



農家の方等の手ほどきを受けながら、グループを作り、マルチに穴を開ける子、その穴に苗を入れる子、土をかぶせる子と、それぞれの担当ごとに手際よく、熱心に植えていました。

早く野菜を植え終えた班の子どもたちの中には、土団子を作ったり、側溝の足洗い場で、水遊びをしたりと、小雨がばらつき、肌寒いことなんか、吹き飛ばすくらい元気に遊んでいました。

今回、みんなで植えた野菜は、早いもので、7月下旬頃に収穫が始まる予定です。

## 与板町優良農家表彰

地域農業の発展に貢献された農業者及び集団を表彰する  
与板町優良農家表彰式が4月27日(火)に行われ次の方々が表彰されました。

### 水稻の部優秀賞

(奨励品種出荷率100%、  
1等米比率100%)

1部(出荷数量200俵以上)  
倉品 正夫氏(南中)



2部(出荷数量150俵以上  
200俵未満)  
石黒 鉄義氏(本与板)



3部(出荷数量100俵以上  
150俵未満)  
真島 肇氏(馬越)



## 新潟県大豆作共例会表彰

大豆の生産振興に貢献された農業者及び集団を表彰する  
新潟県大豆作共例会の表彰式が4月27日(火)に行われ次の方々が表彰されました。  
また、個人の部の大橋さんと、笠原さんは全国大会に出場されます。

### 個人の部

#### 最優秀賞

(10a当たり収穫量296kg)  
大橋 健二氏(山沢)



#### 優秀賞

(10a当たり収穫量234kg)  
笠原 和雄氏(横原)



### 優秀賞

(10a当たり収穫量290kg)  
風間 信晴氏(柳之町)



### 集団の部

#### 優良賞

(10a当たり収穫量249kg)  
サクラ大豆組合  
代表 倉品 正夫氏(南中)



## フォト トピックス

### 旧黒川に泳ぐ鯉のぼり

町民の方から寄付をいただきました鯉のぼりが、たちばな橋より下流の旧黒川に、5月の風を受け元気良く泳ぎ、子ども们的目を楽しませたことでしょう。

また、旧黒川の他に幼稚園・LCY(勤労青少年ホーム)でも活用させていただきましました。



これからは、町の風物にしたいものです。

寄付をいただきましたみなさま、大変ありがとうございました。

### 三輪家三代名画展開催

4月27日(火)～5月16日(日)まで、資料館で特別展「三輪家三代名画展」を開催しました。

三輪越龍(大次郎)・晁勢・晃久の作品を40点集め展示し、期間中は1,450名の来館者でした。

関連行事として、5月15日(土)に三輪晃久画伯に作品の説明会をしていただきました。約100名の来館者が熱心に聞き入っていました。



### 新緑の中へ！町民ハイキング

4月25日(日)町民ハイキングを実施しました。朝に思いがけずあられが降り、参加者は例年よりも少なく40名程でしたが、新緑の城山を目指しました。城山山頂では、山開き行事も行われました。



6月27日投票日  
与板町長選挙  
与板町議会議員補欠  
選挙  
6月22日告示

与板町長選挙及び  
与板町議会議員補欠  
選挙立候補予定者  
説明会

日時  
平成16年6月10日(木)  
町長選挙  
午後1時30分  
与板町議会議員補欠選挙  
午後3時30分  
会場  
与板町役場2階  
第3会議室

7月11日投票日(予定)  
参議院議員一般選挙  
6月24日公示

選挙は、私たちの願いを政治に反映させる大切な機会であり、投票することは大きな権利でもあります。投票日に棄権することなく、みんなでそろって投票しましょう。

## イチゴ食べ放題！ 最高記録は134個！！

5月15日（土）に第2回子ども会行事「イチゴ狩りツアー」を開催し、新潟市の新崎のタカギ牧場に行ってきました。前日まで降っていた雨もやみ旅行日和の天候で子どもたちは、甘くて色鮮やかなとてもおいしい「越後姫」というイチゴをほおばっていました。



## ゴルフの楽しさをフリスビーにのせて

5月9日（日）、河川公園内コースで町内対抗ディスクゴルフ大会を開催しました。町内対抗スポーツ大会の最初の種目となるこの大会に、20町内が参加しました。風の強い好コンディションの中、優勝争いの接戦を制したのは、江西三丁目でした。

《大会結果》

優勝 江西三丁目（336）

2位 江西二丁目（337）

3位 馬場丁（338）

（ ）内の数字は、チームスコア

## 与板の美味しいお酒が 生まれるまでを体験！！

清らかな水・その地で実った米・そして参加して下さる人、お酒を醸すのに最も大事とされているこの3つの要素にこだわり、5月9日（日）にさとやま会の方々によって酒米「一本ノ」の田植えが行われました。

当日は約30名の方が参加され、慣れないながらも一本一本丁寧に、苗を植えていました。

苗の栽培は、環境にやさしい土壌汚染のない「植酸有機栽培」を用い安心・安全な米作りを行い、1年後にはこの米で造られたお酒ができます。



## 好プレー・飛び交う声援 中学校親善野球大会

野球シーズンの到来を告げる中学校親善野球大会を5月3日（月）スポーツ広場で開催しました。南中学校（小千谷市）、広神中学校（広神村）と与板中学校の3校で熱戦が繰り広げられました。

《大会結果》

南中 2-3 与板中

南中 8-8 広神中

広神中 0-7 与板中

## 町内活動の更なる原動力に

この度、堂前中島町町内会では、（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業により子供神輿を購入いたしました。

今後は、町内活動の活性化の更なる原動力となると思います。



## 花いっぱい運動

平成4年からスタートした花いっぱい運動も今年で13年目を迎え、去る5月21日（金）与板町連合老人福寿会の協力のもと、10地区10箇所にサルビアを5,720本植栽しました。

開花すると花壇一面真っ赤になり、来町される方の目を楽しませることでしょう。

## 祝 あやめまつり2004！

去る5月9日（日）、福祉作業所・工房あやめの開所記念日（5月7日）を祝って、「あやめまつり2004」が町民体育館において行われました。

当日は、利用者や家族など約20名が参加し、ソフトバレーやボーリングゲームなど5種目のスポーツを楽しみました。毎日座って作業をしている作業所のメンバーにとっては、心身ともに最高のリフレッシュになったようです。

また、母の日でもあるこの日、メンバーひとりひとりから、お母様方へ花束と感謝の言葉がプレゼントされるなど、心温まる1日となりました。



# お知らせ

与板町役場  
72-3100  
FAX 72-3341  
与板町教育委員会  
72-3945  
FAX 72-3939

## 児童手当が支給されました

6月期児童手当(平成16年2月分から5月分)を6月10日(木)にご指定の金融機関の口座に振り込みいたしましたので、ご確認ください。詳しくは、役場福祉課福祉係までお問い合わせください。

## 資料館特別展

「二人展」信賀齊・石黒康弘

与板町歴史民俗資料館では、特別展「二人展」信賀齊・石黒康弘を開催いたします。与板生まれの美術家の作品をこの機会に是非ご覧ください。

## 期間

6月15日(火)～7月4日(日)  
※期間中無休

## 時間

午前9時30分～午後5時  
※6月25日(金)・26日(土)は、午後8時まで開館いたします。

会場 与板町歴史民俗資料館  
入館料 大人 300円  
小人 150円

## 老人医療費助成制度(長者をご利用ください)

65歳以上の常時ひとり暮らしの方、または3ヶ月以上寝たきりで、かつその状態が継続すると認められる方を対象に、医療費を助成する制度があります。この制度を利用すると、老人保健法が規定する医療費負担と同額で医療給付を受けることができます。

なお、すでに県障などで老人保健法と同等の給付を受けている方は対象となりません。詳しくは、役場福祉課福祉係へお問い合わせください。

## 相談窓口利用について

賃金・解雇・労働条件等に関する悩み事は、お気軽に長岡地域振興局の相談窓口をご利用ください。

相談は無料で、秘密は厳守されます。弁護士相談、カウンセリング相談も実施しています。

## (予約制) 相談時間

月曜日～金曜日(休日除く)  
午前8時30分～午後5時15分  
問い合わせ先  
長岡地域振興局企画振興部  
労働経済課  
☎3716110

## 別院お取越しにご協力を

今年もまもなく別院お取越しを迎えますが、交通事故を防止し、楽しいお取越しとするため、アーケード内に自転車等の放置や、路上駐車をしないようご協力をお願いいたします。

なお、臨時露店の開設区域及び開設期間は次のとおりです。

上町・中町通り(西側)  
6月25日(金)・26日(土)  
堂前通り・別院通り  
6月25日(金)・27日(日)

## 6月は土砂災害防止月間です

がけ崩れや地すべり等の土砂災害は一瞬のうちに尊い命や財産を奪ってしまいます。

山やがけ、川などでおかしな点を見つけたら、すぐに役場振興課または与板維持管理事務所へご連絡ください。また、日頃から避難場所を確認しておきましょう。

与板維持管理事務所  
☎7213181  
役場振興課

## 特設人権相談所を開設します

人権擁護委員は、人権に関するあらゆる問題について相談に応じております。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

平成16年6月25日(金)  
午前10時～午後3時

会場 勤労青少年ホーム  
人権擁護委員(敬称略)  
牧野 文雄(中町)

☎7212929  
小林 興一(吉津)  
☎7213737

町並みギャラリー開催!!  
懐かしい写真で  
商店街を飾ります

6月19日(土)より約1ヶ月間、まちづくり委員会の主催で商店街に与板町民(人物)をテーマに写真を展示します。お誘いあわせのうえご覧ください。また、「与板にまつわる昔の写真・思い出の一枚」を随時募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

詳しい問い合わせ先  
与板町商工会  
☎7212303

## 独立・起業を支援します!!

地域貢献事業を行う事業の設立(子会社設立も可)を支援する「地域雇用受皿事業特別奨励金」の支給要件が緩和され利用しやすくなりました。

《緩和内容》  
・3人以上雇入れのうち非自発的離職者が1人以上であれば創業経費の支援が受けられます。(緩和前は非自発的離職者3人以上)

・法人設立後6ヶ月以内であれば計画認定が受けられます。

(緩和前は計画認定後3ヶ月以内に法人登記)  
・創業支援対象者の雇入れ期限を1年6ヶ月まで延長されました。(緩和前は1年)

・最初の支給申請後に創業支援対象者を雇入れて5人以上になった場合は、追加申請ができることになりました。(緩和前は30歳以上の非自発的離職者を雇入れた3ヶ月経過以降が追加申請時期)

問い合わせ先  
新潟労働局  
☎025123415838  
勤産業雇用安定センター  
新潟事務所  
☎025129016810

## 町民税(第1期) 国民健康保険税 介護保険料

納期限は...  
6月30日(水)です  
(口座振替日は6月28日(月)です)

平成16年度の年金額は、平成15年の消費者物価指数の下落分に合わせ、0.3%引き下げられることとなりました。改定された新年金額による年金の支払いは、原則、平成16年6月支払期からとなります。年1回送付する「年金振り込み通知書」とあわせて、「年金改定通知書」を社会保険業務センターから年金受給権者あてに送付いたします。

なお、年金額改定通知書が届かない場合や、失くしてしまった場合などには、お近くの社会保険事務所にお問い合わせください。

年金改定通知書を  
送付します

\*納税は、便利な口座振替をお勧めします。手続きは町内の金融機関でお願いします。

☎3615141

### 時間外診療当番病院

6月16日～7月15日

<休日の診療当番病院>

6月20日	日	長岡中央総合病院
6月27日	日	立川総合病院
7月4日	日	長岡赤十字病院
7月11日	日	長岡中央総合病院

<平日の夜間救急病院>

曜日	6月	7月～9月
月・木	日 赤	中央総合
火・金	中央総合	立川総合
水・土	立川総合	日 赤

電話番号

長岡赤十字病院	(代) 28-3600
長岡中央総合病院	(代) 35-3700
立川総合病院	(代) 33-3111

### ますのお茶の間

## スペースかたこん

“6月22日(火)開催”

●午前10時～午後3時まで

“七夕かざりを作りましょう”  
折り紙でかざりを作りませんか...  
短冊にねがいごとを書いて飾りましょう!  
子どものころを思い出しながら作ってみましょう!

おにぎり持って、お昼を一語に食べて、  
1日ゆっくりとお過ごしください  
～みなさんのおいでをお待ちしています～

場所 中町「よいた街・愛ステーション」  
介護予防を考える会(与板町役場福祉課)

### 志保の里荘より

## ホットな情報

6月20日(日)午後1時より2階大広間のステージにおきまして、節嶺会による発表会が行われます。

また、7月から9月までの期間は露天風呂もあります。

みなさまお誘いあわせの上、ご来館ください。  
☎72-4649



# 私が育った与板町

昭和48年度与板小学校卒業生  
片桐 千鶴さん(船戸)

与板町立与板小学校の100周年を6年生のときにお祝いした私にとって、清風園は最も身近で楽しい遊び場所でした。昼休み・放課後・休日と友達と毎日のように遊んでいました。だけど頂上まで行ったことは一度もないんです。頂上に向かって歩き始めても途中でドングリを拾ったり木登りをしたりで、なかなか進まないこともあるけれど、木が生い茂って暗くなったり、ガサガサと音がするとドキドキして、このまま行ったら知らない世界へ行ってしまうってこっちの世界へ戻って来れなくなる気がして怖くなりました。何か後から追いかけて来ないか、時々後ろを振り返りながら早足で……

時はもちろん頂上まで登りきりたいと思います。清風園は今でも私にとつてドキドキする不思議ワールドです。

昭和49年度与板小学校卒業生  
永井 保雄さん  
(新潟市在住、堂前中島町出身)

忘れもしない昭和55年7月31日のこと。我々、与板高校野球部は前日の延長戦を制し、甲子園への切符を賭け、決勝戦へと駒を進めた。その日の朝から大雨で試合順延の一報が入り、宿では報道陣の取材を受けたりとのおんぶりムードだった。そこへ突然、試合をやるとの連絡が入り、大慌てで球場へと向かった。試合は中盤まで与板が2点リード。主将の俺には優勝インタビューあるよなあ。なうんて考えていたら、あっさり逆転され、そのまま「ジ・エンド」。ところが与板町に帰ってくると、

与板祭りに輪をかけたような大パレードに大パーティーが待っていた。集金日をそっちのけに、1日中大騒ぎをしてくれた町民のみなさんの温かい心が、沈んでいた部員を癒してくれた。

年齢を重ねてきた今でも、逃してしまっただきな魚に悔いは残るが、与板町がひとつになって共有した時間を忘れることができない。

与板町は、温かい最高の町です。

昭和50年度与板小学校卒業生  
吉田 寿男さん(横町)

私は、現在の役場庁舎が小学校として使用されていたころに入学しました。旧校舎の中庭(現在車庫がある場所)が今思うととてもきれいだっただのを覚えています。清風園には当時から長い滑り台がありましたが、滑りが悪くいろいろ工夫をして遊びました。私が5年生のときに現在の小学校の校舎に移り、引越しのときに山の方から黒川の方に虹が出ていたことなど、当時の思い出は今も鮮明に記憶しています。引越

しただけでなく、小学校の創立100周年の年など、多くの節目を見ましたし、私よりも下の世代が「新人類」といわれたように、私の世代はいろいろな意味で新旧切り替わりの年だったのではないのでしょうか。

私は、与板町が歴史もあり自然環境も整った町だと思えますが、若者が町に残りたくなくなるような仕事や地域性作りも与板町に必要だと思えます。私は現在、消防団や交通指導員としても活動していますが、これからも町に協力できることはしていきたいと思っています。



## 新刊図書

敗北を抱きしめて  
ジョンダワー 著

日本人は、第二次世界大戦後あの苦難を乗り越え、多様な創造性を発揮して、「やり直す」ことができたのか。



会いたかった  
向井 亜紀 著

卵子提供、養子縁組の道を探索しながらも挑んだ最後のチャレンジで、5月、代理母が双子を妊娠。そしてその後……



## 短歌

花と見る皆の眼差しやせし  
五月の空に溶け入るこし  
風間スミイ

京づとの床旦惚がよのやまは  
軽き音して口溶け淡し  
石丸 優子

公園とすっぽり包み込みだるる  
葉桜今と健やかに生く  
痴野 采月

脈汁に玄関にぎやか河川ショ  
五月雨降りつ客吾れ寂し  
山 村

主婦たちの器にもるよ艶姿  
大倉ショの今暮上り  
山 村

## 俳句

ランニング姿吸い込む夏木立  
小林 慧鉄

さみだるるわすもがの老夫婦  
松川 小波

山の背とすっぽり覆ふ夏木立  
藤田 万緑

あのあたり古刹の堂宇夏木立  
佐藤 正一

空壕の園探うせり夏木立  
三輪 仲保

さみだれの音聞く夜半の独り言  
大矢 政子

入院の幼と見ている五月雨  
日浦 美妙

## 詩

### 別れ

仲 葉子

吹雪の夕方にあなたと永久の別れ  
嘘だとおもった  
二十才前がむしやらに本を読んだ  
人生を生活を文字で語りあった  
迷いのなかで問う 反論する  
常に純で前向きに物議も交わした  
戸惑い 涙して あなたの夢をみた  
五月晴れの連休に納骨だった  
若かりし頃の仲間が集結あなたの故郷  
四十年過ぎたけど栗山沢に出向いた  
しだれ桜の若葉の風情が眩しくて  
あなたの自慢 俺ん家の桜だよって  
本当 素晴らしい桜だった  
それより あなたの骨は太かった  
もう一度来るからと振り返り言った  
なのに道順をすっかり忘れてしまった  
気の焦りは有るけれど必ず訪れるから

### つひやき

黒川弥寿栄

緩やかに プリズムされる青春  
「灰色でしたね」と君は云うが  
なんかに お目にかかれたら  
私は、歩みを 止めたりはしない。  
二人が睦まじく いる為には  
愚かである方がいい  
立派すぎない方がいい  
完璧を 望まない方がいい  
互いに 非難する事があっても  
そんな資格が 自分にあつたのか  
あとで、そう考える方がいい  
正しい事を云う時は  
小さな声で 伝える方がいい  
健康で 風に吹かれ乍ら  
生きていることの 有り難さに  
時々、涙を流す方がいい  
バイバイなんて  
死ぬ時まで 言わない方がいい。

## 川柳

民の声清き一票が汚れたり  
子 八

田植日和神社の幟り眺めつ  
司 城

**税務職員（税務大学校生）募集**

人事院では、税務職員（税務大学校生）を募集します。

**採用試験**

税務職員は、国家公務員Ⅲ種（税務）試験の合格者から採用されます。平成16年度のⅢ種（税務）試験の概要は、次のとおりです。

受験資格	昭和59年4月2日～昭和62年4月1日生まれのもの	
試験の程度	高等学校卒業程度	
受験申込受付期間	平成16年6月22日（火）から6月29日（火）までに、人事院関東事務局へ	
試験日及び試験内容	第1次試験	平成16年9月5日（日） 教養試験、適正試験及び作文試験
	第2次試験	平成16年10月14日（木）から10月21日（木）までの間に指定する1日 人物試験及び身体検査
合格者発表	第1次試験	平成16年10月8日（金）
	第2次試験	平成16年11月11日（木）
掲示場所	人事院事務局及び人事院関東事務局	
問合せ先	人事院関東事務局第二課 〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1 http://www.jinji.go.jp/jinji_kanto/ TEL048-740-2006(2007, 2008)	



**くらしの  
カレンダー**

**あいさつは  
人の心を明るくし  
町をもつくるエネルギー**

日	曜	おもな行事など	日	曜	おもな行事など
6/16	水	基本健康診査(前立腺がん検診、結核、肺がん検診含む) 町民体育館/午前8時30分～11時 午後1時～3時(19日まで)	7/1	木	
17	木		2	金	
18	金	骨粗しょう症検診 町民体育館 午前9時30分～11時30分 午後1時～3時 中学校第1回定期テスト(21日まで)	3	土	
19	土	骨粗しょう症検診 町民体育館 午前9時30分～11時30分 午後1時～3時 賢女歌コンサート 青少年ホーム	4	日	町内対抗インドアカ大会(町民体育館)
20	日	幼稚園親子運動会 町民体育館	5	月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時
21	月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時	6	火	心配ごと相談所(小林) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分 幼稚園ぴよぴよクラブ
22	火	補聴器巡回相談所(キコエ) 役場1階宿直室/午前10時30分～11時 心配ごと相談所(山田) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分	7	水	乳児相談会 対象:平成15年11月～平成16年1月生 保健センター/午前9時15分～30分受付
23	水	ポリオ 対象 1回目 平成15年11月～平成16年2月生 2回目 平成15年7月～平成15年10月生 保健センター/午後1時15分～2時受付	8	木	日本脳炎1期追加 対象 平成11年5月～平成12年5月生 保健センター/午後1時15分～2時15分受付
24	木		9	金	
25	金	結核・肺がん検診 町内各所/時間帯は町内ごとに異なりますので、ご案内をご覧ください。	10	土	
26	土		11	日	北越銀行ゲートボール大会 河川敷ゲートボール場
27	日		12	月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時 行政相談 役場男子厚生室/午後1時30分
28	月	結核・肺がん検診 町内各所/時間帯は町内ごとに異なりますので、ご案内をご覧ください。	13	火	補聴器巡回相談所(キコエ) 役場1階宿直室/午前10時30分～11時 心配ごと相談所(山田) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分
29	火	心配ごと相談所(駒形) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分	14	水	日本脳炎1期2回目 対象 平成12年6月～平成13年5月生
30	水	日本脳炎1期初回 対象 平成12年6月～平成13年5月生 保健センター/午後1時15分～2時15分受付 幼稚園個別懇談(7月2日まで)	15	木	1歳6ヶ月児歯科健診 対象:平成14年10月～平成14年12月生 保健センター/午後1時15分～1時45分受付

**広域圏  
ガイド**



**長岡市**

- ◆美術鑑賞講座  
「ルネサンスへの道  
～もう一つの世紀末～」  
6月12日(土)  
「中世の秋」の美術を辿りながら、7月から始まる「ルーヴル美術館展」の出品作品も紹介します。  
県立近代美術館  
28-4111
- ◆古代の「まが玉」をつくろう  
6月26日(土)～7月17日(土)  
弥生・古墳時代の人々が首飾りとして作った勾玉の製作を体験できます。  
県立歴史博物館  
47-6135
- ◆「ルーヴル美術館展」  
中世フランスの秘法  
7月10日(土)～9月12日(日)  
普段では絶対見られないルーヴル美術館の素顔を、フィリパール監督ならではの愛とユーモア溢れる視点で描き出しています。  
県立近代美術館  
28-4111

**中之島町**

- ◆伍芳(ウー・ファン)  
古箏コンサート  
7月8日(木)  
空前の中国音楽ブーム、その先駆者である伍芳(ウー・ファン)が古箏で奏でる極上のコンサート。  
中之島町町民文化センター  
66-1310

**出雲崎町**

- ◆出雲崎町海開き  
7月4日(日)  
海水浴シーズンを前にシーズン中の無事故と海水浴客の大入りを祈願します。  
出雲崎町井鼻海水浴場  
78-2291 町企画振興課

**小国町**

- ◆ちまき作り体験  
6月26日(土)・27日(日)  
もち米・もち米の製粉・岩すげの体験を通してちまき作り体験をしていただきます。  
森光地区  
95-5906 町企画商工課

**人口のうごき**

男	3,666人(±0人)
女	3,864人(+2人)
計	7,530人(+2人)
世帯数	2,125戸(+4戸)
出生	7人
死亡	7人
転入	11人
転出	9人
(5月31日現在)	